

## 令和6年度 阿賀町の教育を評価しました

町では保育園から高校までの15年間を通じて、阿賀町の子ども達を育てていく「15年教育」を進めています。「リーフレット阿賀町の教育（2022～2024）」の目指す子どもの育成や15年教育を貫く重点、家庭や地域との関わりについて評価していただきました。



阿賀町の教育リーフレット  
(2022～2024)

### 1 目指す子どもの育成について（○：成果 ●：課題）

【阿賀町が目指す子ども】ふるさとを愛し、夢をもち、意欲的に学び、自ら未来を切り拓く子	
【保育園】 興味・関心をもって主体的に活動する子ども	○ 地域行事へ参加したり、異年齢児との交流場面を設定したりしたことで、意欲が向上し主体的に活動する姿が見られた。 ● さらに子ども達の興味・関心を高めるために、より多くの人と接する機会を設けることも必要である。
【小学校】 学ぶ楽しさ、わかる喜びを実感し、主体的に学ぶ子ども	○ 各校の研究主題の基づいた授業の中で、級友に尋ねたり、繰り返し問題を解いたりするなど意欲的に学習する姿があった。 ● 主体的に学習に取り組ませるための「魅力的な学習課題の設定」について工夫する必要もある。
【中学校】 学ぶ意義、共に学ぶ喜びを実感し、主体的に学ぶ生徒	○ 地域学習や職場体験学習などをとおして、課題解決のために協働して取り組んだり、他者から学んだりすることができた。 ● 「伝え合う力」について課題が見られる。授業など学校教育の様々な場面で、他者と対話する場面を設定する必要もある。
【高校】 有権者としての将来を見据え、地域社会に貢献する生徒	○ 「総合的な探究の時間」等で地域課題について考え、その結果を様々な場で発表したことにより、地域社会に貢献しようとする資質や積極的に前に踏み出す力が身についた。 ● 考え抜く力を身に付けるためには、自分で設定した課題やテーマをさらに深める取組も必要である。

### 2 15年を貫く重点に関わる取組について

言語能力の育成	絵本の読み聞かせや絵本の貸し出し、読書時間を設定するなどして、子ども達が本に触れる機会を大切にしている。また、授業で級友と意見を伝え合う場面を設定するなどして言語能力の育成に取り組んでいる。
人権教育の推進	絵本や紙芝居を活用して、友達に対して優しく接することの大切さについて気付かせたり、スクールカウンセラーなどの専門家から研修や講演を実施してもらったりして、人権教育の推進に取り組んでいる。
ICT教育の推進と充実	生徒の興味・関心を高め、主体的に学習できる授業を実現するため、情報を可視化したり、個々に必要な情報を獲得したりすることなどができる、タブレットや電子黒板などのICT機器の活用に取り組んでいる。
キャリアパスポートの連携（キャリア教育）	職場体験活動や地域貢献活動、学校田でのコメ作りなど、地域の方との活動をとおして、働くことの意義を学ぶとともに、自分の将来を考える機会となっている。
主権者教育の推進	学校生活向上のために、生徒会などの自治的な活動に、主体的に参画する姿が見られている。また、高校では公民科や家庭科、ホームルーム活動等で計画的に主権者教育の取組が進められている。

### 3 家庭の取組について

睡眠の大切さやメディアとの付き合い方について、子ども達に合わせた取組が進められている。今後も、健康的な生活習慣の確立（メディアコントロールを含む）ができるように、さらに保護者の皆様から協力をいただきながら、推進していきたい。

### 4 地域の取組について

教育活動の様々な場面で学校運営協議会や地域の方々の協力をいただいたことにより、子ども達にとって充実した活動を行うことができた。今後も学校と地域が一体となるように活動を推進していきたい。

阿賀町が目指す子どもの姿実現のため、成果と課題等をもとに、これからも町の教育の充実に取り組んでまいります。  
【問い合わせ窓口】町教育センター ☎ 92-3337